貸倒引当金

貸倒損失

【重要性：A】

ＰＯＩＮＴ！

①　貸倒れの内容を理解しよう！

②　仕訳をマスターしよう！

主な勘定科目

「貸倒損失」勘定（費用）

（1）貸倒れとは？

取引先が倒産したことなどにより、売掛金や受取手形といった債権が回収できなくなることを、**貸倒れ**（かしだおれ）といいます。

（2）当期発生売掛金の貸倒れ

売掛金が回収できなくなり、資産としての価値がなくなったので、貸倒れ時に「売掛金」勘定（資産）を減少させます。また、貸倒れに伴う費用を「**貸倒損失**（かしだおれそんしつ）」勘定（**費用**）で処理します。

例題　**得意先に対して、当期に商品1,000円を掛で売り上げた。後日、得意先が倒産し、売掛金1,000円が回収不能となった。**

売上時に以下の仕訳を行っています。

売　　掛　　金　　1,000 /　売　　　　上　　1,000

「売掛金」勘定（資産）の減少と「貸倒損失」勘定（費用）の増加として処理します。

借 方 科 目	金　　額	貸 方 科 目	金　　額
貸　倒　損　失	**1,000**	**売　　掛　　金**	**1,000**

貸倒引当金

【重要性：A】

ＰＯＩＮＴ！

①　貸倒引当金の内容を理解しよう！

②　貸倒引当金の算定方法をマスターしよう！

③　仕訳をマスターしよう！

主な勘定科目

「貸倒引当金」勘定（資産のマイナス）

「貸倒引当金繰入」勘定（費用）

「貸倒引当金戻入」勘定（収益）

（１）貸倒引当金とは？

売掛金などの貸倒れに備えて、あらかじめ準備した金額を**貸倒引当金**（かしだおれひきあてきん）といいます。決算にあたり、当期末における売掛金や受取手形などの債権が、次期以降にどれだけ貸倒れるかを予測し、その見積額（みつもりがく）を貸倒引当金として計上します。

（２）設定方法

貸倒見積額は以下の式で算定します。なお、日商簿記３級では対象となる債権と貸倒実績率は問題文に与えられます。

貸倒見積額 ＝ 売掛金・受取手形などの債権期末残高 × 貸倒実績率

（３）仕訳

貸倒見積額は「**貸倒引当金繰入**（かしだおれひきあてきんくりいれ）」勘定（**費用**）と「**貸倒引当金**（かしだおれひきあてきん）」勘定を用いて処理します。**決算整理仕訳**として行われます。

借 方 科 目	金　　額	貸 方 科 目	金　　額
貸 倒 引 当 金 繰 入	×××	**貸　倒　引　当　金**	×××

なお、「貸倒引当金」勘定は「減価償却累計額」勘定と同様に、**資産のマイナス**を表す勘定（借方科目のマイナス＝**貸方科目**）であり、設定対象となった売掛金や受取手形から控除する性質です。

貸　借　対　照　表

2030年12月31日

⋮			
売　　掛　　金	10,000		
貸　倒　引　当　金	△300	9,700	

例題　**売掛金の期末残高10,000円に対して３％の貸倒れを見積もり、貸倒引当金を設定する。**

借 方 科 目	金　　額	貸 方 科 目	金　　額
貸 倒 引 当 金 繰 入	**300**	**貸　倒　引　当　金**	**300**

売掛金期末残高10,000円×３％＝貸倒見積額300

（４）差額補充法

①　貸倒見積額　＞　貸倒引当金の決算整理前残高

決算で貸倒引当金を設定するにあたり、前期に設定した貸倒引当金に残高がある場合があります。その場合、当期末の貸倒見積額と貸倒引当金の決算整理前残高の差額を追加で繰り入れます。この方法を**差額補充法**（さがくほじゅうほう）といいます。

例題　**売掛金の期末残高10,000円に対して３％の貸倒れを見積もり、差額補充法により貸倒引当金を設定する。なお、決算整理前の貸倒引当金残高は100円であった。**

①　決算整理前残高試算表

決算整理前残高試算表（一部）

		貸　倒　引　当　金	100

②　決算整理

借 方 科 目	金　　額	貸 方 科 目	金　　額
貸 倒 引 当 金 繰 入	**200**	**貸　倒　引　当　金**	**200**

売掛金期末残高10,000円×３％＝貸倒見積額300

貸倒見積額300－貸倒引当金決算整理前残高100＝200

③　決算整理後残高試算表

決算整理後の「貸倒引当金」勘定は見積額300円となります。

決算整理後残高試算表（一部）

貸 倒 引 当 金 繰 入	200	貸　倒　引　当　金	300

② 貸倒見積額 ＜ 貸倒引当金の決算整理前残高

当期末の貸倒見積額が貸倒引当金の決算整理前残高より少ない場合、その差額を「貸倒引当金」勘定を減額するとともに、「**貸倒引当金戻入**（かしだおれひきあてきんもどしいれ）」勘定を用いて**収益**に計上します。

例題 **売掛金の期末残高10,000円に対して３％の貸倒れを見積もり、差額補充法により貸倒引当金を設定する。なお、決算整理前の貸倒引当金残高は400円であった。**

① 決算整理前残高試算表

決算整理前残高試算表（一部）

	貸倒引当金	400

② 決算整理

借方科目	金額	貸方科目	金額
貸倒引当金	**100**	**貸倒引当金戻入**	**100**

売掛金期末残高10,000円×３％＝貸倒見積額300

貸倒引当金決算整理前残高400－貸倒見積額300＝100

③ 決算整理後残高試算表

決算整理後の「貸倒引当金」勘定は見積額300円となります。

決算整理後残高試算表（一部）

	貸倒引当金	300
	貸倒引当金戻入	100